「台湾ドラマにおける日台コラボレーション」

2015.11.14

ComicProduction 木藤奈保子

所属の会社と業務紹介

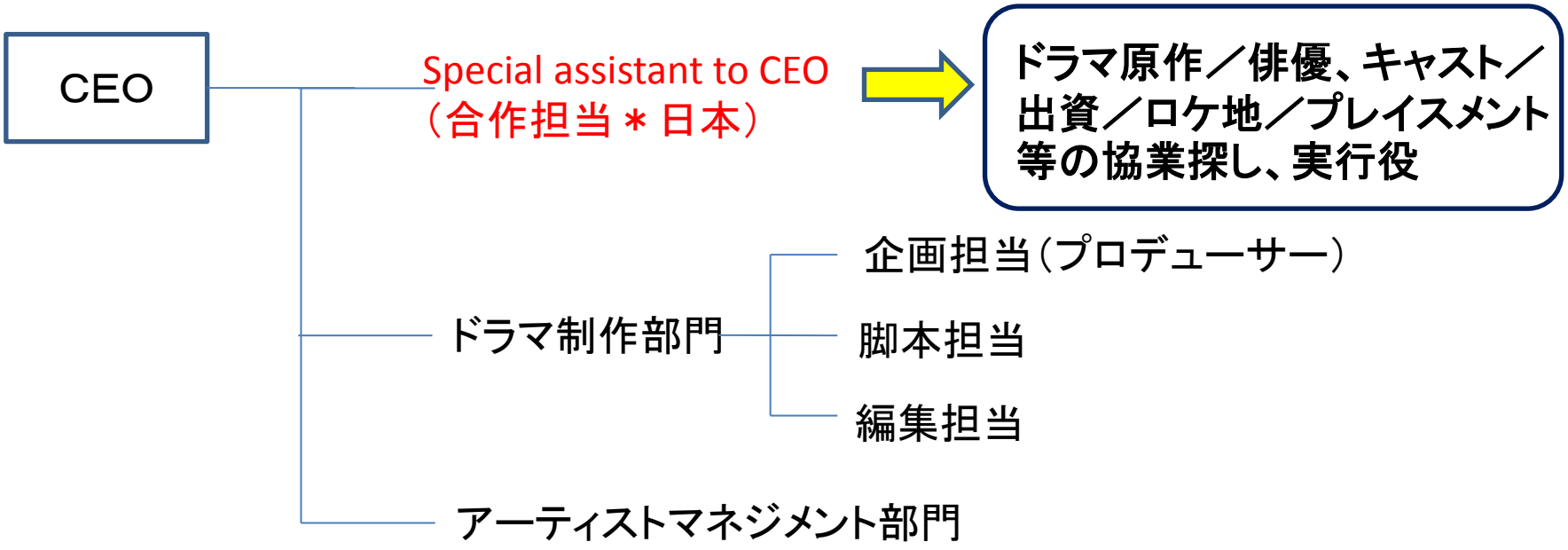
- **可米製作（ＣｏｍｉｃＰｒｏｄｕｃｔｉｏｎ）**

台湾　制作会社

→自身で資金集め、企画、制作、テレビ局、各国への販売をしている。

・強みでもあり、不安定。

・常に環境の変化に応じて急速に新しい事をすることが求められる。



台湾ドラマとは？

最大世界16カ国地域で展開　各国でブームを巻き起こしています！

・**『流星花園～花より男子～』**２００１年
16カ国展開

フィリピン：歴代最高視聴率樹立　**57.4%**
中国：放送後あまりに視聴者に与える影響が大きいとして6話で放送停止に。

・**『悪作劇之吻～イタズラなＫｉｓｓ～』**
11カ国展開
香港 通常の2倍の視聴率

・**『流氓蛋糕店～ショコラ～』**2014年
長澤まさみさん主演
中国、韓国、シンガポール、香港、カンボジア、ベトナム、等

台湾ヒット→アジア全体でのヒット（＊近年は中国ドラマも急成長）

台湾ドラマにおける日本との協業現状

- 日本漫画原作作品の人気
  →**約30作品**/コミックプロダクション18作品
  （日本漫画の現地での人気/花より男子以降続く成功例のため）

- 日本ロケ
  （北海道沖縄などが人気、補助金、観光客増加）
- 俳優の出演
  （長澤まさみさん、平岡祐太さん）

その他　逆パターン
- 日本ドラマ台北ロケ（「孤独のグルメ」台北編など）

→背景
台湾：日本文化に対する人気がある土壌（日本の文化に触れて育っている人が多い）
日本：日本のアジア市場の重視

特に現在、台湾と日本双方のメリットが合致するので今がまさに意義が大きい。

台湾（弊社）として
日本とコラボレーションする目的

●台湾ドラマの置かれている現状

- 中国エンターテイメントの急成長（**映画市場：2014 米104億ドル　中48億ドル　日20億ドル**）
- 台湾ドラマ界の人材不足
- 台湾国内市場

●これらの現状を受けて

- 台湾ドラマ界の人材不足を補うため
- 各国と合作して常に新しいものを生み出し、新しい市場（華人文化圏以外）を切り開いていくため

- ドラマを通して各国の視聴者が他国の俳優や言葉、文化に触れ親しみや興味を持ってもらう事が将来の友好関係に良い影響を与えると信じているため。

●日本にとってのメリット

- 巨大なアジアマーケットに台湾を通して進出可能。台湾はアジアのエンタメの牽引役。台湾でヒットするものがアジアでヒットし易い

- 仕事の進め方、考え方の類似点　多

●中国としても台湾を通して日本と合作する事がメリット大

コラボーレーション結果①

●実績「流氓蛋糕店」原作：窪之内英策著「ショコラ」
長澤まさみさん主演

　長澤まさみさん主演に伴い、設定を台湾人女性から日本で育った台湾人と日本人のハーフと変更。（中国語が完璧でなくてもＯＫ）

・90分15話分全編　中国語、吹き替え無、4か月半撮影。
　毎日深夜まで続く勉強、**プロ根性と努力**

→視聴者から長澤まさみさんへの賞賛
→現場での共演者、スタッフ間における両国の理解と好感度アップ

→ジョン・ウー監督「太平輪」出演

コラボ―レーション結果②

●実績「ＧＴＯ ＴＡＩＷＡＮ」＊制作委託
ＥＸＩＬＥ　ＡＫＩＲＡさん主演
　ＧＴＯ　鬼塚先生が台湾で臨時教師に！

・ＡＫＩＲＡさん等メインキャスト以外は全て台湾人キャスト。
・スタッフ：半分日本人、半分台湾人。

→ＡＫＩＲＡさんのプロ意識、皆への心遣い。現場の雰囲気良好。

＊補足（日台コラボレーション）

●弊社マネジメントアイドル　ＳｐｅＸｉａｌ

男性10人によるアイドルグループ「高身長！」

今年2月より日本人メンバー「風田」加入。（１８９センチ）

SPEXIAL

現在の課題と目標

●課題

　短期スパンで考えると台湾にとって日本との協業のメリットが少なくなっている。

・中国市場の経済力、クオリティの向上
・日本との協業の際に起こる文化や嗜好の違い

→**どんな協業でも良いのではなく、本当に双方にメリットがある協業を進めていく**

●現在の目標

・2016年クランクアップ予定ドラマ準備中